

☆ローマ、迫害下のキリスト教徒の援助のため Stand Together が立ち上げられる☆

2017年2月25日 Zenit - Roma

“Stand Together”は迫害や差別に苦しんでいるすべてのキリスト教徒、なかでも中東に住むキリスト教徒の声を広げるための組織であるが、2017年2月23日、在ヴァチカンのスペイン大使館で紹介された。

参列したのはアンティオキアのシリア・カトリックの総代主教イグナス・ユーンアン猯下、コムニオーネ・エ・リベラチオーネの国際センターの所長ロベルト・フォントラン氏、ローマ・レポートTVの最高経営責任者アントニオ・オリヴィエ氏である。この他、マルタ騎士団も加わった。



この企画は様々な組織の援助を受けて、想像を絶するような現実を目の当たりにしている場所から届く証言を通じて対話と平和の文化を促進することを目指している。

Stand Together の方針は、迫害を受けているキリスト信者や民族の真実を知らせることで、そのために社会的ネットワークを通して支え合うことが重要となる。

マルタ騎士団の医務総監ドミニク・ドウ・ラ・ロッシュフォカルー氏は中東においては、そこに暮らすキリスト教徒に仕事と教育を確保させようとする援助があるにも関わらず、多くの人が国を去っていると指摘する。アンティオキアの総主教イグナス・ユーンアン猯下によれば、2003年のイラク戦争の前は自己の主教区には100万以上のキリスト信者がいたら、今では30万にも届かない。自己の管区は一つの教区のようなものではなく、シリアからレバノン、イラクに渡る複数の国を含むと付け加えた。

ロベルト・フォントラン氏は暴力と困難に苛まれているこれらの地域にキリスト教徒が存在することの価値を知らせることが重要だと指摘する。ローマ・レポートのCEOは、具体的な成果を上げるためにこの地域で起こっていることを正確に伝えることが欠かせないことを強調し、そのためにウェブサイト [allstandtogether.com](http://allstandtogether.com) やその他の社会的ネットワークがあると付け加えた。

☆教皇フランシスコ、「迫害されているキリスト信者のために私と一緒に祈ってください」☆

2017年3月2日 Zenit - Roma

教皇フランシスコの祈りの意向を紹介する2017年3月のビデオが今日発表された。教皇様は信仰のために迫害されているキリスト信者のために祈るようお願いになった。

「なんと多くの人々が、自分の信仰のために、家や礼拝場や土地や愛する人々を捨てるよう余儀なくされていることでしょうか」

と教皇は嘆かれる。「この人々はキリスト教徒であるという理由で迫害され、処刑されています。迫害者はキリスト教のどの宗派に属しているかは頓着しません」と説明される。

「皆さんに尋ねます。あなたがたのどのくらいの人々が、迫害されているキリスト信者のために祈っていますか。元気を出して、祈りと実質的な援助を通し、彼らが全教会と共同体から支えられていると感じることができるよう、私と一緒に祈ってください」

